

研究課題名	【演題番号 08】 母乳中 micro RNA が食物アレルギー発症に及ぼす影響
フリガナ	ナカノ タイジ
代表者名	中野 泰至
所属機関（機関名） （役職名）	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教
本助成金による発表 論文，学会発表	なし

## 研究結果要約

我々はハイリスク出生コホート研究（CHIBA study）において 4 か月までの母乳栄養が 1 歳時点での卵白感作のリスク因子となることを報告した（Nakano et al. *Pediatr Allergy Immunol.* 2020）。母乳中には様々な免疫活性物質の他に microRNA (miRNA) も豊富に存在しており、免疫に関わる miRNA も豊富に存在していることが分かっている。母乳中 miRNA は消化管の中でも安定に存在することも分かっており、母乳を介して児に影響を与えている可能性が高い。しかし、母乳中 miRNA が乳児期の食物アレルギー発症に関わっているかは未だ明らかにされていない。そこで本研究では母乳中 miRNA が食物アレルギーにどのように関わっているかを検討することを目的として本研究を立案した。我々の出生コホート研究の母乳サンプルを用いて 3D-Gene® Human miRNA Oligo chip を用いて miRNA の発現解析を行った。母乳中には 2283 個の miRNA が検出された。1 歳時点で卵白感作の有無で比較すると miR-342-5p, 551b-5p, 3192-5p が卵白感作群で 8 倍以上発現が低下していた。この中で miR-342-5p は VEGF, TGF $\beta$  signaling に関わっており卵白感作に関わっている可能性が示唆された。